

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 07-03-03	事務事業名 援農ボランティアの活用	所管部課 生活文化スポーツ部 産業振興課
-------------------	----------------------	----------------------------

施策コード 活1-1	施策名 産業の振興	施策目標 市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。
---------------	--------------	--------------------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	後継者の育成や女性農業者の活動の支援を行う。また、農家の労働力の不足を補うとともに、農業にふれあい、農業者との交流を深め、都市農業の意義と役割を理解してもらうため、農業に関心を持つ市民を援農ボランティアとして養成する。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【事業内容・実施方法】養成講座の実技や座学実施について、東京都農林水産振興財団・JA東京めぐり・JA東京みらいと協力連携して毎年実施している。援農ボランティア希望者に対し、講義形式の座学を2回と市内農家での農業体験を10回(1回あたり2時間程度)程度行い、一定程度の出席をすれば最終的に「援農ボランティア終了証」を発行する。2年目以降、それぞれ農家において担い手の一翼として活躍することを期待して実施する。【歳出予算】6・1・3(4)担い手養成事業費 8・12節 事業開始時期 16 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()	

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		151	154	180	400
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		151	154	180	400
所要人員(B)	人	0.02	0.02	0.03	0.06
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	163	162	242	490
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	314	316	422	890
単位当たりコスト(E)=(D)/(講座修了者数)	千円	39	45	106	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 援農ボランティア募集回数	実績値 回	1	1	1	1
② 講座回数	実績値 回	12	12	12	12
《指標の説明・数値変化の理由 など》 毎年度1回、5月に募集をかけている。講座内容は基本的に実技10回、座学2回である。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 次 講座参加人数	目標値 人				8
	実績値 人	8	10	5	
二 次 講座修了者数	目標値 人				
	実績値 人	8	7	4	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 援農ボランティア養成講座については、野菜と果樹に分けられ、野菜の方が市民ニーズが高い。参加人数は減少の傾向。養成講座の受け入れ農家は固定化してきている。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	農との触れ合いを求める市民から養成講座は喜ばれている。一方、養成講座の受け入れ農家には、指導する労働力が求められ、また家族以外の方が畑に入ることになるので家族の理解が不可欠となり、固定化の方向となっている。またボランティアのスキルアップや、援農を必要とする農家とボランティアとを取り持つ仕組みについて工夫が求められる。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 近隣市でも、これまでに18市が東京都農林水産振興財団と協力して、養成講座に取り組んでいる。しかしながら22年度においては8市に減少している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 07-03-03	事務事業名 援農ボランティアの活用	所管部課 生活文化スポーツ部 産業振興課
-------------------	----------------------	----------------------------

施策コード 活1-1	施策名 産業の振興	施策目標 市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。
---------------	--------------	--------------------------------------

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>農業の担い手の不足や高齢化が課題となっている現状において、今後も重要な役割を担う事業と考えている。しかしながら、受入農家の固定化と市民側の援農ボランティア養成講座への参加者が減少傾向にあり、改善が必要である。</p> <p>援農ボランティアのスキルアップや、援農を必要とする農家とボランティアとを取り持つ仕組みについての工夫が求められる中、22年度に援農ボランティアスキルアップ講習会を開催し、23年度は農家に対し事業案内の送付などを行っている。</p> <p>今後も引き続き、援農ボランティアの養成・活用に向けて、他の事業との連携などを視野に入れて検討を進めていく。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>本事業は、農家の後継者育成や、労働力不足の補完を目的としているが、援農ボランティアをどのように農家の後継者育成等に結びつけていくのかについて、その道筋が明確でない。また、講座修了者のうちボランティアとして活動しているものは半数に届かず、ボランティアのスキル不足や農家とのマッチングが課題となっている。後継者不足や労働力不足に課題を抱える農家にとって、どのようなニーズがあり、援農ボランティアに何をしてもらいたいのかといった状況の把握が十分になされておらず、育成したボランティアの活用よりも講座修了者を増やすことに事業が偏重しているように感じられる。これまで改善に向けた取組みは若干見受けられるが、本事業が目指す農家の後継者育成や、労働力不足の補完に結びつくような方向に向けた抜本的な見直しが必要である。</p>
	事業の必要性	1	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、二次評価でも指摘のあるように。事業目的に対して援農ボランティアの育成から活用に至るまでの計画等が明確となっておらず、必ずしも順調に機能しているとは言えない状況にある。</p> <p>今後は、農家側のニーズを把握した上で、そのニーズに即したボランティアを育成し、ニーズを踏まえた事業展開となるよう抜本的に見直ししていく必要があり、他の事業との連携等も視野に入れつつ、効果的な事業の仕組みを検討されたい。</p>